



SAIDAIJI JC REPORT

2002年スローガン

ベースボール

～白球を追いかける少年のように～



岡山ブロック会長
公式訪問

3JJC合同例会

専務理事 藤原 知弘

本年度、3JJC合同例会及び岡山ブロック会長公式訪問例会が(社)備前青年会議所さんの主管のもと岡山国際ホテルにて3月30日に開催されました。当日は年度末の月末という大変忙しい時期にも関わらず「ブロック役員団」はもとより県内各ロムよりたくさんのおブザーバーのお越しを頂き開催されました。



高木ブロック会長



閉会挨拶をする山名理事長

最後になりましたがご出席頂きましたブロック役員団の皆様、また県内各ロムのオブザーバー参加頂きました皆様、長い公式訪問例会ロードお疲れ様でした。

本年度、3JJC合同例会及び岡山ブロック会長公式訪問例会が(社)備前青年会議所さんの主管のもと岡山国際ホテルにて3月30日に開催されました。当日は年度末の月末という大変忙しい時期にも関わらず「ブロック役員団」はもとより県内各ロムよりたくさんのおブザーバーのお越しを頂き開催されました。

が出来ました。

今後のあり方、各委員会の活動内容についてご説明が行われました。そして後の懇親会では県内各所のメンバーとの親睦も深め、最後は「備前名物?5本締め」でも無事終了するにととなりました。



長尾副理事長の閉会挨拶

我々西大寺青年会議所も近年、著しい会員の減少には頭を痛めている訳ですがそんな中、高木ブロック会長が笠岡青年会議所さんの会員拡大の行方を紹介下さり、とても参考になるアドバイスを頂くことが出来ました。



3JC野球大会



副理事長 中村 千晃

去る4月7日(日)に(社)備前青年会議所の主管により、恒例の3JC野球大会が日生球場で開催されました。

前日の雨も上がり朝から晴天?に恵まれ絶好の野球日よりとなりました。第一試合は、玉野対備前の白熱したシーソーゲームが繰り広げられた。熱戦は、粘る玉野を振り切つて、備前が一点差で勝ちました。第二試合は、備前対西大



理事長フルスイング

寺の試合です。ここで、我が西大寺のメンバーを全員紹介します。ピッチャー岡本、キヤッチャー中村、ファースト山名、セカンド延原、サード岡田、ショート山根、レフト長尾、センター水野、ライト歳森以上9名です。(大丈夫かな?)玉野さんはユニフォームを新調。大会まで汚さないという事で勝てるかと思いきや皆さんご存知のごとくピッチャー岡本、大乱調(ドンマイ)で備前さんの勝ち。これで、体もほぐれて、いやほぐれすぎて第三試合目は、玉野対西大寺の試合です。キャンプテン山根は肩の調子が悪く、ピッチャー中村(ついに、出番が来ました。)一回、打者3人5球でチェンジのほがノアアウト満塁。打者二順十一人(おいおい。)半数の人が初心者だけに、守りが

……しかし、二年前の準優勝の時よりも打撃は勝っています。(過去最高では?)我々西大寺はあきらめません。取られても、取り返す野球です。(いてまえ打線)山名理事長が打つ、歳森監督が打つ、初心者岡田が打つ、打撃十割長尾が打つ、しかし全員足を引きずりながら走る(歩く)。どこも痛くない延原が打つ、岡本三振、いつの間にか打撃戦が死闘になり、交代メンバーがいよいよ西大寺は自分との戦いになってきました。三回遂に力尽き玉野が勝ち、二連敗の結果になりましたが3JCと楽しく一日過ごすことが出来ました。最後に参加くださいましたメンバーの皆さんご苦労様でした。(お身体を大切に)本番では優勝目指して頑張りましょう。(皆さん、参加宜しく)

第51回 岡山ブロック 会員懇親野球大会

総務広報委員会委員長 岡田 康志



いよいよ決戦の日がやってまいりました。4月21日(日)津山スポーツセンター野球場で、津山JC主幹のもと第51回目となる野球大会が予定されていきました。前日の夜から降り続いた雨は朝になってもやまず、早朝より会場の津山を目指し出発した我々の予想通り、野球は残念ながら中止ということになりました。

雨天時の競技として事前に決まっていた綱引きを行うため、会場を体育館に移し午前9時に開会されました。我々の初戦の相手は野球での組み合わせ通り真庭JCで、ルールは3回勝負で2回勝ったほうが勝ち。で、結果はあっさり2連敗し、初戦で敗退となりました。しかし、準備運動で行ったエアロビクス等、楽しい1日ではありました。

ちなみに、優勝チームは西大寺JCが対戦した真庭JC、2位は倉敷JC、3位は新見JCということでした。

ブルーエリア
ミーティング

第1回

監事 歳森 宏

さる3月19日に邑久町商工会をお借りしてブルーエリアミーティングが開催されました。

ブルーエリアとは私が入会した平成元年頃西大寺・上道・邑久3町のエリア（西大寺青年会議所のエリア）を総称してそのように呼んでいます。今回は邑久郡の合併について邑久郡にお住まいの先輩方にお集まりいただき意見交換をさせていただきました。

現役会員にとって正直なところどこから話を進めていけばいいのか悩みながら手探りの状態で準備が進んでいき当日を迎えましたが、メンバーにとって日頃いかに地元のことに視線が向い



ていないかということがわかったような気がします。これから邑久郡内のいろんなところで説明会等が開催され合併に向けて話が進んでいくかと思いますが、メンバー一人一人がもっと地域のことについて勉強し、若者としての大きなビジョンを考えていく必要があると感じました。

去る4月10日(水)西大寺商工会議所にて4月例会を開催しました。

今回は二胡演奏家の田川(Tian chuan)氏をお招きし「国際舞台でリーダーシップを」と言う演題でご講演して頂きました。

田川氏は、中国黒竜江省ハルビン市のご出身で、87年に来日され岡山大学、同大学院にて経済を学ばれ、現在も中国との貿易、翻訳、通訳等の仕事もされているようですが、主に二胡の演奏家として活躍されています。チャーターコンサートなど

4月例会開催

例会委員長 播野 信道

企画から参加され、全国的に活動されていますが広島にて昨年3回目を迎えたチャリティ

「平和コンサート」等、大変積極的に活動されておられる方です。



二胡を奏でる田川氏

例會では、宵待ち草、ラストエンペラーのテーマ曲など4曲も演奏して頂き、中国の風景が浮かび、胡弓の音色が胸に響きました。

「平和とは、幸せと言う事」と言う講師の言葉に共感しました。日本は、後方支援や戦後のボランティアをする前に戦争が起こらないように国際舞台で活躍して

もらいたいと話しておられました。

「日本が戦後50年余りで経済大国になったのは、戦争を放棄し、平和を守ってきたからこそ。もう一度、その意味を見つめ直してほしい」と、99年日本に帰化され二つの「祖国」を持たれる田川氏の願が伝わってくるようでした。メンバーもそれぞれ何かを感じ、平和の大切さを再認識した事と思えます。



第69回

じやがいも大会

親睦研修委員会 委員長

水野 隆一郎

去る4月5日(金)、真庭ゴルフカントリークラブにて第69回ブロックじゃがいも大会が盛大に開催されました。今回は山名理事長をはじめ西大寺青年会議所のメンバー5名が参加しました。特別会員の方の参加がなくちょっと寂しい感じがしましたが天候もよく楽しくゴルフができました。真庭は醍醐桜が有名ですが昼の間に満開の桜を見に行く人もおられたようです。桜の下ですばらしいゴルフができればよかったのですがスコアのほうはみなさんととも公表できるものではありませんでした。また秋の大会にむけて精進したいと思います。秋には是非とも特別会員の方々にも御参加いただきましたと思いますので宜しくお願いいたします。



去る3月26日(火)、岡山市役所市長室にて吉井川支流の「黒谷川を守る会」の田中会長をはじめとする会員の方々や国土交通省の皆様を交え、私と延原担当副理事長の立会いのもと、黒谷川を守る会会員の皆様が大原町より持参された

「水の流れは心をつなぐ」

地球市民委員会 委員長 安藤 修

木版に、萩原岡山市長の想いを市長ご自身の直筆によって、揮毫していただきました。

この木板は、黒谷川を守る会の皆様が、流域住民の方々に川を楽しく使っていただく為に手作りで作られた、清流沿いの「あかなめ小屋」

(休憩所)に掲示される目的で製作されたもので、掲示されるに相応しい素晴らしい作品が製作されていました。

一昨年の東粟倉村、昨年の西粟倉村の源流の碑に続き、今年も吉井川フェスタの開催日をスタートとして、吉井川



▲萩原岡山市長木板に揮毫



▲製作された木板

流域各地を地元の人々の手によりリリースされ、今年の秋に黒谷川に「吉井川源流の碑」が建立される予定です。

本年度、吉井川フェスタでは昨年に引き続き、吉井川との関わりを最下流の町である西大寺だけに留めることなく、他流域の人々と共に、考えていきたいと思えます。水の流れは心をつなぐ。

この日製作された木板に書かれた想いが、本年度の吉井川フェスタに生かされることを願ってやみません。



行・事・予・定

- 5月8日(水) 5月例会 (西大寺商工会議所)
- 5月19日(日) 第1回吉井川清掃 (岡山市西大寺新河川敷)
- 6月2日(日) 第38回岡山ブロック会員大会 (笠岡JC主幹：里庄総合文化センター)
- 6月12日(水) 6月例会 (西大寺商工会議所)

社西大寺青年会議所は会員を大募集しております。

男女問いません。

私達と一緒に地域創りしませんか。

問い合わせ先

西大寺商工会議所内
社西大寺青年会議所事務局
TEL086-942-0101

発行日 平成14年5月8日
発行責任者 山名宏典
編集責任者 岡田康志
発行所 (社)西大寺青年会議所
印刷所 フジイ印刷株式会社